

地域研究集会

第7回三陸海域の水産業と海洋研究集会 近年の三陸沿岸における海洋環境変動に伴う海洋生態系の変化を考える

日 時：2021年1月23日（土）13:00～17:00

場 所：岩手大学農学部総合研究棟 第7講義室（盛岡市上田3丁目）

コンビナー：後藤友明（岩手大三陸水研セ）・児玉琢哉（岩手水技セ）・佐々木 系（水産機構技術研）

方法：事前予約制による対面式と遠隔（Google Meet を使用予定）※参加希望者は1月18日までに参加方法を記入の上後藤（tgoto@iwate-u.ac.jp）までお知らせ下さい。Web参加者には招待メールをお送りします。

共 催：岩手大学三陸水産研究センター

1. 挨拶： 山下 洋（一般社団法人水産海洋学会長） 13:00～13:05
2. 趣旨説明：後藤友明（岩手大農） 13:05～13:15
3. 基調講演 座長：後藤友明（岩手大三陸水研セ）
近年の海洋環境変動に関連する海洋生態系の変化桜井泰憲（函館水産・海洋研究センター） 13:15～14:00
4. 話題提供
座長：佐々木 系（水産機構技術研）
 - (1) 三陸沿岸域で近年生じている海洋環境の動向 笥 茂穂（水産機構資源研） 14:00～14:25
 - (2) 三陸沿岸域で近年生じている漁業・養殖業の変化
 - 1) 海洋環境変動とホタテガイ養殖業 児玉琢哉（岩手水技セ） 14:25～14:45
 - 2) 岩手県の定置網漁獲変動と海洋環境の関連性 後藤友明（岩手大三陸水研セ） 14:45～15:05
 - (3) 近年の海洋環境変動に対する沿岸生態系の応答
座長：1～2) 児玉琢哉（岩手水技セ），3～4) 後藤友明（岩手大三陸水研セ）
 - 1) 三陸の沿岸藻場に対する海洋環境の影響 八谷光介（水産機構技術研） 15:15～15:35
 - 2) 三陸沖の動物プランクトン動態と海洋環境の関連性 田所和明（水産機構資源研） 15:35～15:55
- 座長：座長：
 - 3) 近年のサケ資源の動態と海洋環境の関連性 佐々木 系（水産機構技術研） 15:55～16:15
 - 4) 近年のマダラ資源の動態と海洋環境の関連性 成松庸二（水産機構資源研） 16:15～16:35
5. 総合討論 座長：後藤友明（岩手大三陸水研セ） 16:35～17:00
6. 閉会

開催趣旨：三陸海域では、サケやサンマ資源の減少に加え、磯焼けや貝毒の長期化などが同時多発的にみられており、沿岸漁業にとって深刻な問題が顕在化している。定置網や無給餌型養殖など、三陸の沿岸漁業は黒潮・親潮混合域という複雑な海洋環境の下に形成される生態系に支えられており、これらの盛衰は海洋の長期的な変動のみならず、より短期的な変化を含む複合的な要因によって影響を受けると考えられる。近年みられている問題の多くは、海洋環境の変動に起因していることが個別の事例として明らかにされているが、応答メカニズムや生物間の相互作用の変化についてはほとんど考察されていない。海洋環境変動に対する水産資源の応答は、再生産や成長に対する直接的な影響だけでなく、生態系に生じた変化の現れと考えられるため、その全体像を把握するためには、海洋環境に対する様々な栄養段階での応答の事例を比較することが必要となる。そこで、本研究集会では、近年の三陸沖合における海洋環境と沿岸漁業・養殖業に生じている変化のほか、三陸沿岸域における複数の栄養段階を代表する生物資源の動態と海洋環境との関連を整理し、三陸沿岸域で最近生じている海洋環境に関連した生物生産機構の変化を考察することを目的とする。